

福島教区報

天理教福島教務支庁

〒960-8022 福島市新浜町7番26号
TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404

教会数 122ヶ所
布教所数 109ヶ所
よみほく数 3285人
(R182.0未現在)

謹賀新年

陽気ぐらし世界へ向かって

新たな年が暮開け

謹んで立教百八十三年の新春のご祝辞を申し上げます。

昨年は、縦の教会系統の活動と共に、福島教区の横の地域活動の上にも、並々ならぬお力添えを賜りました。とりわけ、人事変更の時期となり、4月1日からは教区の役職者が変更し新人事で教区活動がスタートいたしました。

その中、7月2日には表統領・中田善亮先生のご臨席を賜り、教会本部の親心と教区管内の皆様方の真実で進められました福島教務支庁の新しい教職舎が完成し、喜び心一杯で「教職舎開所式」をさせていただきました。

また、婦人会の上からは、本年4月19日に「婦人会創立一〇周年記念総会」を迎えるに当たり、5月から9月にかけて県内4会場で「婦人会員決起の集い」が開催され、更なる実動を誓い合った年でもありました。

さらに台風19号の影響を受け県内各地で甚大な被害にみまわれ、各地で救援支援活動を進めた年でもありました。特に10月29日から11月7

日までには被害の大きかったいわき市へ災害救援ひのきしん隊本部隊が出動となり、福島教区隊も救援活動にとつとめさせていただいた年でもありました。昨年一年、それぞれの御用の上にご尽力ご丹精を賜りましたことに、改めて厚く御礼を申し上げます。誠に有難うございました。

本年は元号が「平成」から「令和」にかわり新時代の2年目を迎えます。日本国内では東京オリンピックの年であり、世界に目を移せば様々な問題が生じて激動の時を迎えています。

世界だけを目指し、まずは足元から陽気ぐらしの輪を広げさせていただきたいと存じます。本年一年も、教区、各支部、各部各会のそれぞれの活動の上に、ご尽力ご丹精を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

教区長 平澤勇一

福島教区本年前半の主な行事予定

- 2月29日～3月1日 若人よろこびの集い
- 3月28日 春の学生おぢばがえり
- 4月2日 福島教区 教区祭
- 4月18日 婦人会創立110周年パレード
- 4月29日 全教一斉ひのきしんデー
- 6月3日 婦人会総会
- 6月20日 基礎講座開催(会津会場)

災害救援ひのきしん隊 出動

10月12日夕方に静岡県に上陸した大型で強い勢力の台風19号は、13日にかけて、関東と福島県を縦断し、各地に記録的な豪雨をもた



中田表統領先生、田中本部長臨席のもと、第3次隊の結隊式が行われた。(11月4日)

らした。中通りを流れる阿武隈川をはじめ、浜通りでも多くの川が氾濫。県内24河川・50カ所で堤防が決壊して、約1万5千棟の住宅が浸水した。さらに、相馬市、南相馬市、新地町や、いわき市で約7万3千戸が断水した。

管内の教会でも、渡利分教会（福島支部）が床上浸水、猪苗代分教会（耶麻支部）では、屋根の一部損壊という被害が出た。

これらの被害を受け、福島教区災救隊（生江一行隊長）では、被災地域を視察し、16、17日と述べ18名が本宮市へ出動し、浸水した家屋の家財道具などの搬出を行った。また、災救隊本部より給水車2台を借用し、19日より24日まで磐城平大教会を拠点に、いわき市で給水活動を延べ25名で行った。さらに、28、29日には、渡利分教

会へ出動、4名で復旧活動に努めた。

被害が東日本の広範囲に及んでいたため、情報収集や各方面との相談検討を行っていた災救隊本部は、10月29日よりいわき市へ出動を決定。磐城平大教会を宿営地をすることとなった。

29日夕方、福島教区隊をはじめ、東京・山形教区隊約50名が大教会に集合、結隊式が行われ、その後、各隊の代表者が翌日からの作業の打ち合わせを行った。

翌30日は朝から実動となり、被害の大きかった平窪や赤井、小川地区、さらに遠野地区へ出動。浸水した家屋の畳や家財道具の搬出、床下の泥だし、災害ゴミ・土砂の搬送などを行った。

1日の夕方からは2次隊の神奈川・秋田教区隊が、4日夕方からは3次隊の青森・北海道教区隊が、宿営地に入り、引き続き救援活動

を行った。4日には表統領・中田善亮先生、災救隊本部長・田中勇文先生が、渡利分教会を慰問した後、いわき市の現状視察をした。

6日夜には解隊式が行われ、7日は宿営地の撤収作業が行われた。

なお、8日間の実動で、延べ536名の隊員が出動、23件の被災住宅の支援、233トンの災害ゴミ、土砂搬送を行った。また、10月29日から11月7日の10日間で延べ135名の婦人会員が、食事・清掃等の受け入れのひのきしんをとめた。

その後、福島教区隊では、15日、19日、28日、30日と2回にわたり、磐城平大教会を拠点に、い

わき市へ出動。本部隊が入ったが作業完了できなかった現場や、いわき市災害ボランティアセンターから、「天理救災救隊にしか頼めない」という現場に入り、災害ゴミの搬送や家屋の整理清掃などの作業を行った。8日間で延べ116名が実動した。

(K・N)



道の教職員の集い

「東北ブロック大会」に2名参加

10月19日(土)後、子供たちにどんな力を
20日(日)、「道につけていかなければなら
ないのか。」「道の教職員
の教職員の集い
は、教会というパイプを通
して、知識や経験を生かす
時が来るのでは。」と話し、
東北ブロック大会」が秋田
県横手市の「ホテルウエル
ネス横手路」に於いて開催
され、22名が参加した。福
島教区(古川善一代表世話
人)からは2名の参加した。

1日目は、まず、道の教
職員の集い運営委員会副委
員長・田中直行先生(天理
小学校教諭)が講話を行っ
た。田中先生は、「人口減
少を基本軸に今後の教育政
策を考えていくことになっ
ている。」「A I化により、
仕事も減ってきている。し
かし、小学校の先生のように
立っ仕事は無くならない。」
と現状を述べたうえで、「今

その後、ねりあいが行わ
れ、講話についてや会員増
と会の活性化について話し
合われた。

2日目は、各教区の活動
状況・課題・展望について
ねりあいが行われ、それぞ
れの情報を交換し、今後の
活動の参考となった。また、
ブロック内での情報交換を
もっと密にしてはなどの声
もあがった。

(K・U)



厚生部

厚生部研修会「発達障害者の基礎知識と

おたすけをする上での留意点」開催

10月2日、厚生部（二瓶善一郎部長）では、

教務支庁で研修会を開催し、教区役職者をはじめ、36名が参加した。

今回は、発達障害者支援

蒙しようと、「発達障害者の基礎知識とおたすけをする上での留意点」について、DVDを見ながら研修となつた。

DVDの中で杉岡信宏先生は、「発達障害は生まれつきの脳の障害で、病気とは異なる」とした上で、発達障害の種類、それぞれの特徴についてお話された。そしてそれぞれに対して、どのように接したらいいのか、具体例を交えながらお話された。

参加者は、「おたすけをする上でとても参考になった。」との感想が寄せられた。

(Z・N)

基礎講座

「天理教基礎講座」（二本松会場）開催

11月17日 下さいました。

(日)、二本松市市民交流センターを会場に、

「天理教基礎講座」が開催され、未信者1名を含む20名が受講しました。今回は、白熊繁一先生（東京教区講師）が講師を勤められ、ビデオと講話を通して、基礎教理を分かりやすくお説き

（喜多方市）、安達支部（二本松市）の2カ所で初開催させていただき、初めての受講者を17名（内未信者2名）と5名（内未信者1名）、それぞれお与えいただきました。また、それぞれの会場で午前中にリハーサルを行うなどして、スタッフの育成にも努めました。

来年は相双支部で初開催予定です。身近なところで開催されるので、布教の手立てとして是非ご活用ください。

来年は相双支部で初開催予定です。身近なところで開催されるので、布教の手立てとして是非ご活用ください。

(K・K)



婦人会

「教区母親講座・婦人の集い」開催

去る11月30日(金)、福島教区婦人会(平澤栄美主任)では、「教区母親講座・婦人の集い」を福島

教務支庁で開催し、40名が参加した。まず、平うた子先生(福山一分教会長)を講師に「母親講座」が行わ



れた。先生はまず、「子供の数が多く、賑やかな教会」と、自教会の特色を表現し、「月次祭の時に教祖に子守りをしていただいていると信じておつとめをつとめている」と話された。そんな子供たちは、中学生になっても変わらずに教会に寄ってくれていて、ある時は、親に代わって子供たちの不始末を謝罪に行ったこともあったそうで、大人になっても教会に心を寄せていただいているというのは、そういった丹精のおかげなんだろうと思わせていただいた。



また、「おたすけの時も、「何とかこの人を」と思い立ち、無理な願いを教祖にさせていただいたが、お受け取りいただいた。かぐらづとめの理、日々おつとめの理を基本に、神様にお受け取りいただける日々の通り方を努めている。」と話を締めくくられた。

その後、参加者は、寒い中でしたが、勇んで教務支庁周辺で神名流しを行った。そして、昼食をとりながらお楽しみビンゴを楽しんだ。

最後に、参加者全員で片付けもさせていただき、解散となった。

(E・H)





耶麻支部

「よろぼく成人講座」開催

耶麻支部（齊に感じました。）

藤容久支部長）今回は、「すつきり解決！

では、10月6日不足の心」をテーマに、日々の生活の中でついつい出て

教会において、「よろぼく成人講座」を開催し、24名に治めていけばいいのかについて共に考えました。受

が参加しました。講師は、講者は班別のおしゃべりタイムなどで真剣に他の方

近藤直光先生（湖大成分教話に耳を傾け、自身に照らし合わせて講師の話を実

会長）でした。今まで同じに聞いていました。そして、

支部内講師の話を聞く機会不足の原因は実は自分の心

がなかったため、逆に新鮮にあり、自分が変わることに

によって、不足に思っていたことが喜びへと変わっていくことを学びました。

上は90歳から下は18歳まで年齢幅があり、若い人が

話しくそうに感じましたが、全体としてはよい成人講座だったと思います。

(K・N)

福島教区「よろこびの集い」

2月29日(土)～3月1日(日)

参加対象 16歳から41歳までの男女
 参加御供 1,000円
 内 容 教区長先生のお話、
 お楽しみ交流会、
 おつとめ練習、など

春の学生おちぼがえり

3月26日(火)～29日(金)

26日 8時 教務支庁発一おちぼ着
 27日 観光(USJ)、前夜祭
 28日 式典、直属アワー
 夜 天理発
 29日 7時 教務支庁着
 参加費 2万6千円
 宿 泊 津詰所

天理教婦人会創立110周年記念

第102回総会

4月19日(日) 午前10時

本部中庭、南・東礼拝場前、西境内地

【記念行事】

・「パワー結集！よろこびのパレード」

4月18日(土) タづとめ後

・講演会「陽気ぐらしへ向かう道」

4月19日(日) 午後1時

第2食堂、第3食堂

東講堂、東右第1講堂

天理教校学園高校講堂

敷島詰所講堂

天理大学杉之内第1体育館